

▼あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。★役場企画政策課まで（電話72・0332）

ようこそ、オシドリ天使さん

東京杉並区から小学生が来町

オシドリグループと交流している東京都杉並区の小学生が、8月9日から12日までと、8月16日から19日までの2班に分かれて日野町を訪れました。この交流は舟場出身で同区小学校教諭、佐々木幹夫さんが平成8年から続けているものです。

今回も牛を見たり、竹細工、滝



第一陣3人を迎えるオシドリグループの皆さん



第二陣は6人を迎えた

山神社と龍王滝、大山寺の見学など盛りだくさんの内容を体験しました。

また子どもたちは、育てたドングリの苗木3本を持参。オシドリグループに手渡しました。事務局の森田さんは「大切に育てます」と笑顔で受け取りました。

◆お手紙を紹介します

ドングリの苗木を育てた杉並第一小学校卒業生、品田拓海さんからの手紙を紹介します。

この苗木はぼくが5年生の時に、佐々木先生が「興味のある人はぜひ育ててみてください」と言っていました。ぼくはその苗木をもらって約2年間育てました。楽しく育てていたのですが、たまに水やりを忘れてしまったりしていました。でも元気に育ちました。なぜ、佐々木先生に渡すことにしたかというと、元気に成長して植木鉢が小さく感じたので、佐々木先生に森へ持って行ってもらうことにしました。これでオシドリや森のためになるならうれしいです。



子どもたちが育てたドングリの苗木が贈られた

本番まで一か月、稽古も白熱

第11回町民ミュージカル

10月14日に町文化センターで上演される、第11回町民ミュージカル「明地峠のゴンぎつね」に向けて、28人の出演者による稽古が同センターで続けられています。

今回の物語は、明地峠に伝わる「たまもり神社」の伝説を下敷きに、峠に暮らす人間とキツネの心の交流と命の尊さを歌い上げるファンタジーです。

チケットは現在発売中。詳しくは、「文化センターだより」(21ページ)をご覧ください。



熱の入った稽古に励む出演者たち

駅の清掃に汗流す

黒坂コミュニティ協議会が
黒坂・上菅駅清掃活動



掃き掃除やベンチの福掃除で汗を流す（上菅駅）

地域の玄関口でもある駅をきれいにしようと、黒坂コミュニティ推進協議会（中原明会長）が黒坂駅、上菅駅の清掃を、7月22日に行いました。この活動は、同協議会環境部が中心となり毎年行われている恒例の事業です。

早朝にもかかわらず、多くの参加者が集まり、持ち寄った作業用具を使って、黒坂駅、上菅駅の駅裏の草刈りやごみ拾い、構内のクモの巣取りなどの掃除を行い、汗を流しました。

参加者は、きれいになった駅を見て、地域住民みんなが利用する施設・空間を力を合わせてきれいにし、気持ちよかったです。

野田に元気な声が響く

野田自治会夜回り



「火の用心！」元気よく声を出す

子どもたちの夏休み期間中に、火災予防活動をしようと野田自治会で毎週木曜日、午後8時から夜回りを行っています。

8月9日、今年3回目の夜回りが行われ、子どもと大人合わせて30人が、野田みちくさの館に集合。「元気を出して歩こう」と大人が声をかけ出発しました。地域の人は拍子木の音と元気な声が聞こえると軒先に出て「頑張つてね」と声かけていました。

野田子ども会の小林真理子さんは「大きな子どもが小さな子の面倒を見てくれる良い経験になります。成長がうれしい」と微笑みました。

温かい交流の場に

セルプひの夏まつり



多くの来場者に大忙し

日ごろから、地域のとの交流を図っている障がいがある人たちの授産施設セルプひの（根雨）で、8月11日に恒例の夏まつりが開かれ、多くの人でにぎわいました。

名物の焼きそばやかき氷などの屋台は次々と地域の人が訪れ、できあがり待たず行列ができるほど大にぎわい。スタッフと利用者は、忙しい中、温かい交流を楽しみました。屋台のほか工作教室や日野病院の健康相談が行われるなど盛りだくさんの内容でした。

また、日野高ショップも開かれ、新鮮な花などを買い求める客でにぎわいました。

歓声あげてアユを追う

根雨まちなかでアユつかみ



逃げるアユを追う子どもたち

8月12日、根雨のハローワーク駐車場横の水路で「清流で鮎と遊ぶ」がつかみ取りが開かれま

した。

これは、子どもたちに町のすばらしい自然とふるさとを大切にすることを育てたいと活動する「水と魚に親しむ会（生田正明会長）」が主催し、今年で2回目となります。アユつかみは、すっかり町の夏の風物詩となっています。当日は多くの家族連れでにぎわい、子どもたちが歓声をあげてアユを追いかける元気な姿が見られました。

また、会場ではアユの塩焼きも販売され、香ばしい香りが会場に広がりました。